

会 議 録

会 議 の 名 称	P T A ・ 後 援 会 等 部 会 (会 議 ・ 第 1 回 目)	
開 催 日 時	平 成 2 8 年 6 月 7 日 (火) 午 後 6 時 3 0 分 ~ 午 後 7 時 5 0 分	
開 催 場 所	川 島 町 コ ミ ュ ニ テ ィ セ ン タ ー 2 階 会 議 室 3	
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会 議 の 公 開 に つ い て ・ 会 議 録 及 び 会 議 署 名 委 員 の 指 名 に つ い て ・ P T A ・ 後 援 会 組 織 の あり 方 の 検 討 に つ い て ・ P T A 組 織 ・ 会 則 等 の あり 方 に つ い て ・ 後 援 会 組 織 ・ 会 則 等 の あり 方 に つ い て ・ 地 域 と の 連 携 に つ い て ・ そ の 他 今 後 の 会 議 日 程 等 に つ い て 	
公 開 ・ 非 公 開 の 別	公 開 ・ 非 公 開 ・ 一 部 非 公 開	
非 公 開 の 理 由 (非 公 開 の 場 合 の み)		
出 席 者	委 員	【 統 合 関 係 学 校 の 保 護 者 代 表 者 】 矢 部 一 仁 、 小 久 保 英 二 、 松 井 正 仁 、 根 岸 智 仁 、 小 林 勉 、 山 田 知 治 、 長 島 明 【 統 合 関 係 学 校 の 学 校 職 員 代 表 者 】 五 島 ア ツ 子 、 若 林 幸 治 、 柳 澤 睦 夫 、 小 林 進 、 岡 部 玲 子 、 鈴 木 泰 生 、 関 口 昭 彦 、 野 本 彰 【 教 育 委 員 会 が 必 要 と 認 め る 者 】 関 光 一 、 遠 藤 光 男 、 大 野 恵 司 、 松 本 良 男
	事 務 局 職 員	粕 谷 副 教 育 長 兼 教 育 総 務 課 長 、 坪 内 室 長 、 中 尾 主 査 、 栗 原 主 事 補
配 布 資 料	資 料 1 P T A ・ 後 援 会 組 織 の あり 方 の 検 討 に つ い て 資 料 2 P T A 組 織 ・ 会 則 等 の あり 方 に つ い て 資 料 3 後 援 会 組 織 ・ 会 則 等 の あり 方 に つ い て 資 料 4 地 域 と の 連 携 に つ い て	
協 議 会 等 の 内 容 ・ 概 要		
1 開 会 2 あ い さ つ 柳 澤 会 長 3 議 事 (1) 会 議 の 公 開 に つ い て (2) 会 議 録 及 び 会 議 署 名 委 員 の 指 名 に つ い て 矢 部 委 員 、 小 久 保 委 員 4 協 議 事 項 (1) P T A ・ 後 援 会 組 織 の あり 方 の 検 討 に つ い て 委 員 : 次 期 P T A 役 員 を 1 0 月 に は 決 め て し ま う の で 、 P T A 班 の ス ケ ジ ュ ー ル を 早 め て ほ し い 。 事 務 局 : ス ケ ジ ュ ー ル を 1 か 月 前 倒 し に し ま す 。 (2) P T A 組 織 ・ 会 則 等 の あり 方 に つ い て 委 員 : 小 鹿 野 中 学 校 が 4 校 に 統 合 し た 1 校 に な っ た 概 要 に つ い て 説 明 し て ほ し い 。 事 務 局 : 小 鹿 野 中 学 校 へ 3 校 が 統 合 さ れ る 方 式 だ っ た よ う で 、 中 心 と な っ た 小 鹿 野 中 学 校 の 会 則 が 基 に な っ て い る と 思 わ れ る 。		

事務局：各PTAより、各PTAの会則などについて補足説明をお願いしたい。

三保谷PTA：資料のとおりです。

委員：特色的な事業としては、田植え協力、盆踊りなどを地域と一緒に取り組んでいる。

出丸PTA：P2に訂正があります。資料2、出丸小の学年委員は、児童が11人以上の場合役員が2名。11名以下は1名。地区委員が5名。公民館行事に参加している。

八ツ保PTA：常任委員は、字ごとに配置していて、常置委員は子どもの多いところについて追加して配置している。運動会、三世代交流事業など地域の事業に参加している。

PTAの人数が減って負担が増えている。昨年から資源回収2回から1回にした。

小見野PTA：八ツ保小の常任委員と同じような委員として学年委員と言うものを配置している。

委員：新しい規約の作成を、早めに動き出してほしい。2つの学校で特別会計もある。閉校式、開校式についてお金を残しておくかどうか、決める必要もあると思われる。単PTA同士、校長も含めて話し合ってもらいたい。

委員：平成30年度に三保谷、出丸、八ツ保、小見野の4つの小学校が2つの小学校に統合された後、平成34年度までの間、小中一貫教育の研究を進めると計画される。その結果によって、2つの小学校が1つの小学校になることも予想される。数年後には、一つの小学校になるかもしれないと考えれば、統合する小学校の2つのPTA組織を同じようにしておけば、のちのちすり合わせが楽では。行事などに、特色を残しておけば良い。

事務局：基本は、4校が集まって作っていくのがよい。直近では2校でまとめていく必要もある。事務局が、統一的な会則を作る。人事などについては、2校で話し合ってもらいたい。

会長：PTAの方に持ち帰り話していただき、1ヶ月後までに方向性を確認していただきたい。

委員：PTAとして、いつまで、何を決めればよいのか？

事務局：2校間で会則を見比べて1つのPTAの会則とするのか？それとも4校に共通した会則を作り、人数など調整の必要な部分については2校だけで調整するのがよいのか？などを検討いただきたい。会則の作成の期限は、校名が決定する11月から12月までに合わせたい。

委員：会則が決まることにより、人事が決まる。地区の役員が順番で役員をやっている連合PTAなどとの調整が必要かどうか。新しい会則で、地域が順番に会長をやるかなど懸案である。水面下で既に次の会長が決まっている。早く決めてほしい。

事務局：4校に共通する内容の会則でよければ、1か月後でも作成できる。

委員：共通会則を作ってもらい、PTAに持ち帰り審議したほうがよい。

会長：それでは、事務局が次回までに共通な会則を作成すること。PTAは、それを持ち帰り詳細について検討してもらおうこととする。

(3) 後援会組織の・会則等のあり方について

事務局：各会長より補足説明をお願いしたい。

三保谷後援会：積み立てをしている後援会があるようだ。少子高齢化が進んでおり、後援会費を下げる方向がよいのでは。

出丸後援会：出丸は会費を1,000円もらっている。人数が少ないので他の地区より高いようである。役員などについても改めて考える必要があると思う。

八ツ保後援会：後援会は、PTAよりは任意性が高い。さらに将来の統合を視野に入れて共通な会則を作って検討するのがよい。ただし、役員の数などは別に検討する。なるべく、シンプルに作成したほうがよいと思う。

小見野後援会：目的に合致した形で、金銭的に学校へ援助している。教育委員会で把握しているのならば、他の地域での実情について教えてほしい。都市部では後援会がないところもあると聞いている。

委員：グラウンド整備や授業で使う物が壊れた時など、学校で急な出費があるときに、後援会に助けていただいている。

委員：後援会の共通の会則は、地域に即したものにしたい。

事務局：次回の会議までに共通の会則を作成したい。

委員：後援会班で、会則について打ち合わせをしたい。校長先生にも入っていただきたい。

事務局：それでは、日程会場を調整して班員と校長先生へお知らせする。共通の会則もそれまでに作成する。

(4) 地域との連携について

委員：説明資料がある小中学校評議委員をやっている。委員として学校に訪問したときに、先生から一生懸命説明していただいた。学校と地域との連携は十分図られていると感じる。


委員：学校応援団など学校を支援する活動があるが、統合されると遠くなり行きづらくなる。地域と学校が、協力することや交流が上手くできるような組織を作りたい。

委員：地域の伝統文化を担っている小見野の神楽や豊年踊りなどを継承していけるようにしたい。

(5) その他 今後の打合せ日程についてなど

次回のPTA・後援会等の会議は、7月19日（火）午後6時30分～
開催場所は、決まり次第お知らせする。

5 閉会 関口副会長

署 名	矢部 一仁	
	小久保 英二	